



暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
(住んでよかつた)
と思える川西市に…

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp

6月議会

拙速な廃園ではなく、子育て支援の充実を 就学前施設のあり方、通学費補助で討論



6月議会の私(黒田)の一般質問3項目のうち、今号では「③子育て支援を充実すること」について、「この間の状況も含めて報告します。質問では市立就学前教育保育施設のあり方や電車・バスで通学する児童・生徒への交通費補助などを取り上げました。
質問①北部の医療サービスの充実・医療を確保する」と、②小学校給食により近づく中学校給食の実現について一は前号で報告しました。

(市議会ホームページで動画配信中)

幼稚園の廃園計画

育の拡大や通園バスの手立てなどやってこなったことがあります。

この間お伝えしているよう原因

に、市は「清和台幼稚園は今年度に廃園、東谷幼稚園は4歳児が5人未満になれば廃園検討」という内容の「市立就学前教育保育施設のあり方について」を打ち出しています。これに対しても、市民から、293件の厳しい意見が提出されています。

困る、公立園の役割を

地域で育ちを支える視点を

意見では、「廃園になれば、通園距離が遠くなる、費用負担が増える」。「経済的に厳しい家庭や特別な支援が必要なこどものため、公立園の役割がある。バランスのとれた市内配置が必要」

入園児童数の減少は、保護者二一〇に沿った3歳児

原因に目を向け対策を

顔が見える子育て応援こそ

裏面につづく

す。

学校につづく

意見を出しています。

意見では、「廃園になれば、

学校に通うが、保育所、園もそ

れぞれの地域に通い、地域で

育ちを支える視点が重要」

また、子ども・若者未来会議

数は市全体の13%なのに、施設

数は39.7%、定員数は32.1%

たが、就学前施設数の構成比は

14.9%しかありません。

明峰校区と緑台校区には、公立

の就学全施設（幼稚園と保育

所）はありません。市の計画で

所）はありません。市は、来年度から清和台校区もな

くなります。

また、例えば、東谷校区の生

徒数は市全体の構成比4.4%

ですが、就学前施設数の構成比は

17.2%、同定員数構成比はわずか

ら（傍聴者にも資料配布）、子育て保育・教育施設を偏在させないこと、地域で顔が見える子育てを応援すること、保護者・市民ニーズに応えることが必要であり、廃園を拙速に進めるべきではないと厳しく質しました。また、20年間要求し続けていました。

いる保護者の負担が大きい小

中学校に通うこども達の交通

費補助を実施するべきと求めました。



市田忠義参議院議員と共に街頭演説会
こむら潤選挙区候補を囲んで(宝塚ゆめ広場)
選挙後、引き続き公約実現への決意を述べる大門みきさん(右)とこむら潤さん(左)



参議院選挙 日本共産党の得票、当選者

○平和、命、くらし最優先でがんばります!

敬称略	比例(票)	得票率(%)	当選者(3人)	選挙区(1人)
全国	3618342	6.8	田村智子・仁比聰平・岩渕友	東京・山添拓
兵庫県	145251	6.33	第5位	こむら潤 150040票・第5位
川西市	4139	5.79	第5位	こむら潤 4337票・第5位

※オール沖縄・イハ洋一、野党1本化・杉尾秀哉(長野)田名部匡代(青森)各氏が当選されました。

保育や給食の実施、預かり保育した内容を明らかにしながら
は「入園児童数の減少は、保護者二一〇に沿った3歳児
私(黒田)は、市の実態を調
査した結果を明らかにしなが
ら(傍聴者にも資料配布)、子育
て保育・教育施設を偏在させ
ないこと、地域で顔が見える子育
てを応援すること、保護者・市
民ニーズに応えることが必要
であり、廃園を拙速に進めるべ
きではないと厳しく質しました。
また、20年間要求し続けていた
いる保護者の負担が大きい小
中学校に通うこども達の交通
費補助を実施するべきと求めま
した。

表の通りですが、さらに憲法遵守、国民が主人公の立場で平和・命・くらし最優先でこれからも全力でがんばります。引き続きの「指導」と「支援」を、よろしくお願いします。